長崎大学
NAGASAKI UNIVERSITY
ISSN 1347-7994

CHOHO

広報誌【長報:チョーホー】

Vol.31
2010 April Spring
Since 2002

特集 ～男女共同参画推進の拠点～ **おもやいセンター、始動！**

学長室便り

女性がもっと輝きを放つキャンパスへ

長崎大学長　片峰　茂
Katamine Shigeru

人間の半分は女性です。ところが、長崎大学での女性の割合は、昨年度の実績で、学部学生で40％あったものが、大学院生では27％、教員にいたっては14.8％（教授に限れば6.5％）と、キャリアが上がるにしたがって激減してきます。

女性が大学でキャリアアップを図るための機運がまだまだ醸成されていないことを意味しています。ジェンダーは人類が有する最も重要な多様性のひとつです。男女が均等にチャンスを享受し、双方が持ち味を生かして共同作業を行ない切磋琢磨する中からこそ21世紀のブレークスルーが生まれるにちがいありません。

学術の府＝大学における教育・研究や診療こそ、女性が適性を有し最も能力を発揮することのできる分野のひとつであるはずです。女性たちが、奔放に、そして縦横無尽に輝きを放つ、そんなキャンパスを創りたいものです。長崎大学は今、男女共同参画実現に向けた環境整備と意識改革に、真面目にそして本気で取り組もうとしています。

平成二十二年　四月

CONTENTS

【特集】　～男女共同参画推進の拠点～おもやいセンター、始動！ …… 1
【人クローズアップ】　環境科学部　増田 研 准教授 …… 7
【いいたか放題】　長崎県福祉保健部医療政策課（行政医師）　藤田 利枝さん …… 10
【長崎大学教育学部附属小学校　金管バンド部】 …… 12
【夢へのチャレンジ】　「夢募集」企画大賞 ウッドデッキ築造プロジェクト（前編） …… 14
【長大ニュース】 …… 16
【グラバー図譜】 …… 18
【インフォメーション】・【編集後記】 …… 21

◎本誌記事を長崎大学関係者が転載する場合は、「長崎大学広報誌 CHOHO○号から」と明記してください。
学外の方は、事前に広報企画委員会までご連絡願います。

～男女共同参画推進の拠点～

おもやいセンター、始動！

この春、文教キャンパスに誕生した「おもやいセンター」は、
「長崎大学男女共同参画推進センター」の愛称です。
「おもやい」とは九州方面の方言で、「共有する」とか
「一緒に仲良く使う」という意味で使われます。
文字通りそんな精神で活用してほしい「おもやいセンター」。
その活動内容や完成したばかりの施設をご紹介します。

【ウッドデッキ築造プロジェクトのホームページ】http://starleague.web.fc2.com/nagasaki_univ/index.htm

長崎大学ウッドデッキ　検索

作業の流れ

DATA
●工期：平成21年9月～平成22年3月
●デッキの広さ：300㎡（130人収容）
●デッキ材：レッドシダー、杉（熊本、宮崎産）

●着工前の現場
活用されることもなく雑草が生い茂った状態だった。右側の建物が生協食堂。

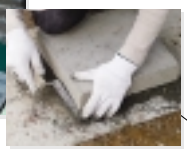
●大学の施設部と打ち合わせ
学生の計画を基本に、安全性や耐震性、予算などについて着工直前まで何度も話し合い、結果、材料やサイズなどを変更。予算も大幅に増えることに。

9月

★「夢募集」企画大賞受賞

●整地と基礎コンクリート打設
工事現場をカラーコーンやポールで囲み、生協食堂側の窓に防音・安全シートを張る。整地は、重機の運転免許を持つ学生がやる予定だったが、危険を伴うことから業者に依頼。

10月



●束石（基礎石）の設置
全127個の束石を並べたところ。この後、１個ずつレーザー基準装置で計測して水平さと高さを揃えながらモルタルで固定。誤差が許されないシビアな作業が続く。

●基礎コンクリートの点検
業者の作業後、コンクリートの高さの誤差を測量して入念にチェック。

●木材の防腐処理
最初は防腐剤の液が入った容器に木材を浸す方法で行っていたが、仕上がりと効率の良さから、１本ずつ手作業で塗ることに。束柱、梁、根太、床板など何百本も処理する根気のいる作業。

11月

★本プロジェクトが「学生ものづくりアイディア展 in 長崎」で銀賞受賞
（２週間後、新潟で行われるコンテストに出場決定）

●束柱の上に梁をわたす
デッキを支える土台づくり。束石の上に束柱を立て、その上に梁をわたしたところ。

12月

★「学生ものづくりアイディア展 in 新潟」で優秀賞受賞
新潟大学、富山大学、長崎大学の選抜15チームが参加。機械・電気系の出展が占める中、本プロジェクトは唯一の建築・土木系だった。多くの人の役に立つという点などが評価された。

●根太の組み上げ
中村木工所のアドバイスを受け、梁の上にきれいに根太を組み上げた。いよいよ床板張りへ。

●床板を張る（1）
床板を一枚ずつ土台の根太へ固定。

●床板を張る（2）
最後まで安全第一で遂行できることを手づくりの神棚に祈る松本代表。大半の床板が張られたことで、ウッドデッキの表情が明確になった。

◎後半の作業は次号でご紹介します。

【大学の施設をつくるということ】

生協食堂の混雑は、大学にとっても長年の懸案事項のひとつでありました。私たちのプロジェクトは、まず、大学の施設部の応援を受け、設計や見積もりの作業を入念に行いました。学内の施設はすべて大学が管理することになるため、築造に際して安心・安全な建築物としてのさまざまな基準を守らなければなりません。しかも今回は、１３０人収容の巨大なウッドデッキの建設ということで、大学の施設部の方と何度も会議を重ねる中、私たちの設計は厳しいプロの目にさらされ、さまざまな変更を余儀なくされました。さらに、設計をより屈強なものとしたことで、予算も当初の計画の3倍近くにまで膨れ上がりました。自分たちの計画とはいえ、動き出した現実に、身が引き締まる思いでした。

【全国初のチャレンジ】

学生が大学の施設の建築を企画し、大学側が学生に工事を任せるという事例は他にはありません。全国初の快挙です。

作業前には代表自ら段取りをし、朝礼において、安全を確認して作業を行うことをみんなで約束し、現場に入ります。工事は、全員が力を合わせたことで何とか順調に進み、完成も間近に迫っています。

私たちのチャレンジは、大学の教職員や地元の木工所の方など多くの方々の支援と励ましに大きく支えられています。このような機会を与えていただき、感謝の気持ちで胸がいっぱいです。本当にありがとうございます。

（平成22年2月現在）

Cho-dai News

長大ニュース
平成21年　平成22年
12月・1月・2月

第5回アジア金融市場国際カンファレンスを開催

12月12日及び13日、「第5回アジア金融市場国際カンファレンス」を長崎市内のホテルで開催しました。

片峰学長、須齋大会委員長（経済学部教授）の挨拶の後、2日間にわたり研究報告とディスカッションが行われ、活発な意見交換が行われました。

第5回目となる今回は、これまで参加した各国を代表する大学から一流の研究者を招聘し、また、世界各国の研究者から多数の論文応募があり、その中から選ばれた21件の研究報告が行われました。さらに、本学大学院経済学研究科博士前期課程の学生4人が研究成果を報告し、各国の研究者から貴重な示唆をいただきました。（CHOHO30号で紹介）

研究報告をする本学大学院生

長崎大学病院あじさい保育園開園式を挙行

病院では、12月21日、あじさい保育園開園式を挙行しました。

あじさい保育園は、長崎大学に勤務する職員の子供を対象とし、特に医療関係職員の離職防止、キャリア形成・職場復帰支援などの就業支援・復帰支援の一環として、従来の院内保育所を整備拡充したもので、受入年齢を小学校就学前までに拡大、さらに、延長保育（20時まで）、夜間保育（週1回）及び病後児保育を新たに行います。

開園式では、片峰学長及び河野病院長による看板上掲式に続き、病院長挨拶、テープカット、園内見学が行われました。

片峰学長らによるテープカット

長崎県との包括連携に関する協定を締結

12月24日、本学と長崎県は「包括連携に関する協定」を締結しました。

これまで本学と県のそれぞれの関係部局が個別に連携していたものを、互いの連携窓口を一本化することにより、包括的な連携を推進していくことを目的としたものです。

長崎県庁特別会議室にて行われた締結式では、片峰学長と金子知事がそれぞれ協定書に署名し、協定が締結されました。

地域産業の振興や文化・学術の発展などに貢献し、地場産業界との技術連携、共同研究の推進や知財戦略の活性化、人材育成の推進、そして今後は地域における子育てや教育、医療分野においても連携強化を図り、地域・学術の発展に寄与することが期待されます。

片峰学長（左）と金子知事

医学部「良順会館」が2009長崎市都市景観賞を受賞

2月5日、医学部創立150周年記念事業の一つとして建築された医学部の良順会館が、2009長崎市都市景観賞小さな建物部門を受賞しました。

同賞は、長崎市の魅力ある景観を守るとともに、将来の長崎市の都市景観を誘導するような良質な建築を奨励するために隔年で選考・授与されているものです。

表彰式では、田上長崎市長から松山医学部長に表彰状並びに記念のプレート及びトロフィーが授与されました。

良順会館

病院で Metis さんのロビーコンサートを開催

病院では、2月15日、シンガーソングライターMetis（メティス）さんのロビーコンサートを開催しました。

Metisさんは、昨年11月に日本赤十字社、厚生労働省などが実施する「はたちの献血」キャンペーンソング制作のため本院を訪問。病気と闘う子供や若者と会い、その交流を通じて、同キャンペーンCMソング「キミに出会えてよかった」を制作しました。今回、その報告のために、再訪を希望され、実現したものです。

コンサートは、患者さん、見舞い客など250人以上が集まり、「キミに出会えてよかった」をはじめ、代表作「母賛歌」などを熱唱し、献血の大切さや命の尊さを訴えました。

熱唱する Metis さん

協和機電工業と産学連携協力推進協定を締結

2月18日、地域を中心とした産学連携の協力推進のために、協和機電工業株式会社（長崎市）と産学連携の協力推進にかかわる協定を締結しました。

調印式では、片峰学長と協和機電工業の坂井取締役社長が協定書に署名しました。

今回の協定により、地域企業の発展に貢献するとともに学術の発展に寄与することが期待されます。

片峰学長（左）と坂井取締役社長

ハイチ大地震に関する市民シンポジウムを開催

ハイチ大地震発生直後の1月16日から約2週間、熱帯医学研究所の山本教授が日本の国際緊急援助隊医療チームの第一陣として現地で活動したことを受けて、2月27日、市民シンポジウムを開催しました。

当日は、大学生を含む市民約80人が参加し、医療チームに参加したNPO法人代表の小田哲也氏と山本教授が、「ハイチ　いのち　生きる力」と題して講演をしました。二人は、劣悪な環境の中で明るく生きる子供たちの姿や、思うように進まない医療活動の状況などを報告した後、時間の経過とともにハイチへの関心が薄れていくことを懸念し、「いまだに水や食糧が不足していることを心に留めてほしい」、「自分に何ができるかを考えてほしい」と訴えました。

小田哲也氏

山本教授

グラバー

長崎大学名誉教授
夏苅豊
Natsukari Yutaka

イッテンアカタチ
Acanthocepola limbata

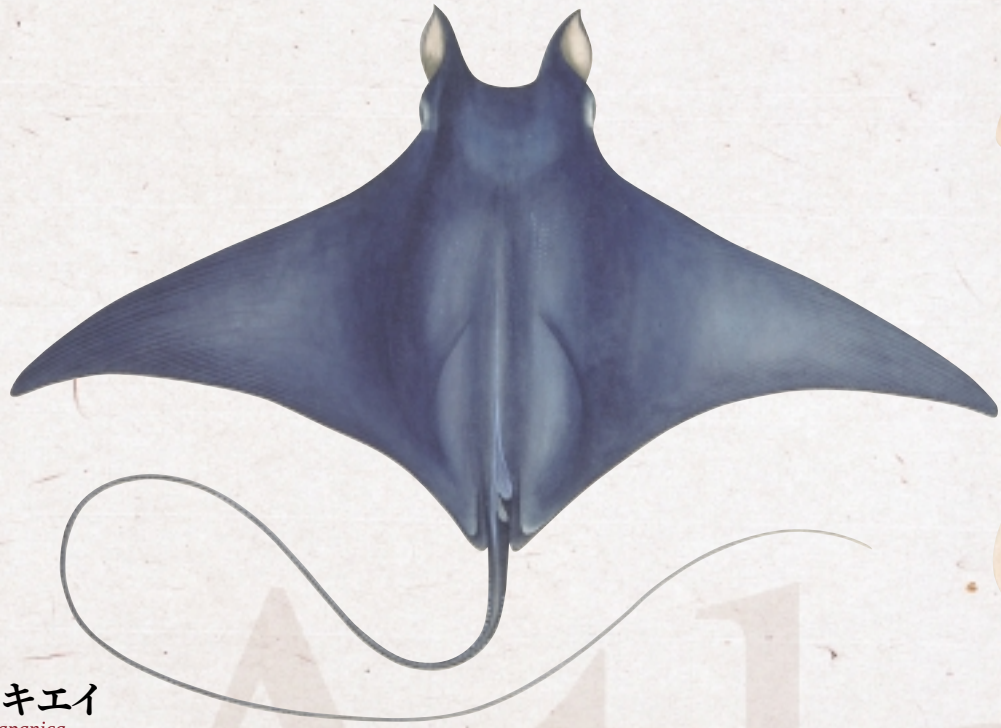
●画家：萩原魚仙
本州中部から台湾に分布。100m位の深さや砂泥底にすみ、体長約50cmに達する。グラバー図譜で最初に描かれた魚。

マサバ
Scomber japonicus

●画家：萩原魚仙
熱帯、亜熱帯海域などに分布。沿岸性の回游魚。旋網、釣り、定置網でとられる。秋はとくに美味。

ナガサキトラザメ
Halaelurus buergeri

●画家：小田紫星
細長い小型のサメ。長崎方面だけでなく、小樽、高知、台湾、インド沿岸などにも分布。かまぼこの原料になる。



イトマキエイ
Mobula japanica

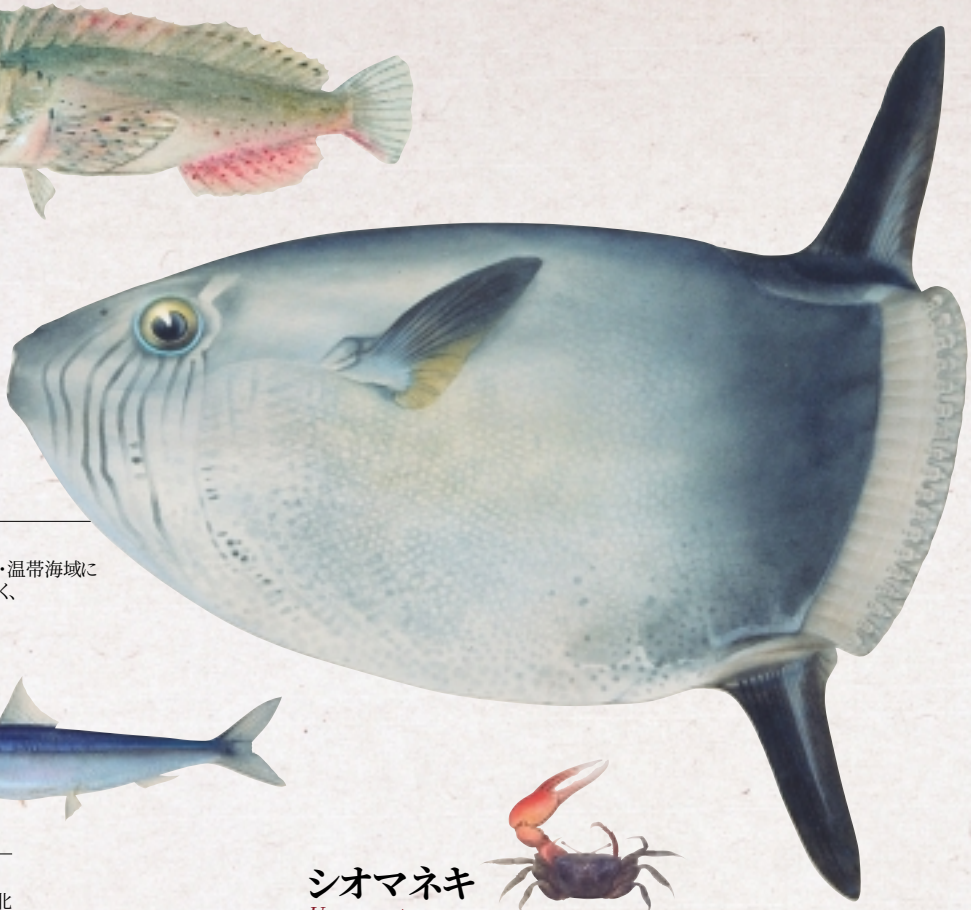
●画家：萩原魚仙
南日本の沿岸から沖合いにすむ大型のエイ。全長３m、500kgを超えるものも多い。かまぼこの原料になる。

『日本西部及南部魚類』図譜

Fishes of Southern & Western Japan

ハナチゴオコゼ
Kanekonia florida

●画家：中村三郎
内湾性の小魚。目の後方から背びれがはじまり、体に鱗がないのが特徴。長崎地方及び高知のみで知られる貴重種。



クサビフグ
Ranzania laevis

●画家：長谷川雪香
マンボウ科の魚。世界の熱帯・温帯海域に広く分布。体は厚みがあまりなく、全長１mに達する。

ウルメイワシ
Etrumeus teres

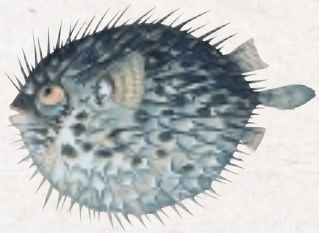
●画家：長谷川雪香
世界の温暖水域に広く分布。日本近海では北海道以南の各地、朝鮮半島、中国でみられる。

シオマネキ
Uca arcuata

●画家：萩原魚仙
九州、沖縄、台湾、香港などに分布。有明海沿岸では古来、食用の風習がある。塩と唐辛子を混ぜて作るカニ漬は珍味。

キハッソク
Diploprion bifasciatum

●画家：萩原魚仙
南日本からオーストラリア沿岸、インド洋に分布。厚みがあまりなく、派手な色合いが特徴。全長20㎝に達する。



ハリセンボン
Diodon holocanthus

●画家：中村三郎
世界の熱帯・温帯海域に広く分布。鱗が変形した棘鱗は、フグ類中もっともよく発達し、著しく細長い。無毒。

倉場富三郎の『グラバー図譜』

■グラバーの息子の偉業

「Fishes of Southern & Western Japan 日本西部及南部魚類」（通称『グラバー図譜』）は、明治末から昭和初期にかけての約25年間に、倉場富三郎（Thomas A. Glover：１８７０～１９４５）の手によって長崎で作成・編纂された魚類図鑑です。

スコットランド人の貿易商トーマス・グラバー（Thomas Blake Glover：１８３８～１９１１）を父に持つ富三郎は長崎に生まれました。東京の学習院に進み、卒業後はアメリカのペンシルベニア大学で生物学を2年間学んでいます。帰国後は長崎にもどり、１８９３年、ホーム・リンガー商会（父のグラバー商会の後を引き継ぐかたちで設立された会社）の社員となりました。

ホーム・リンガー商会は、１９０７年に「長崎汽船漁業会社」を設立。専務取締役となった富三郎は、父の故郷イギリスから鋼船トロール汽船を購入。五島沖での操業に成功し、日本における鋼船トロール漁業のパイオニアとなりました。

『グラバー図譜』の作成・編纂が始まったのは、ちょうどその頃です。自社の漁船から長崎魚市場に水揚げされる色とりどりの魚介類を見て、生物学の基礎を学んでいた富三郎がそのようなことを思い立ったのは、想像するに難くありません。また、幕末、オランダ商館医師として来日したシーボルトの日本研究の名著のひとつである『ファウナ・ヤポニカ』には、画家川原慶賀に描かせた長崎方面の魚譜が収録されていますが、その存在も動機につながったといわれています。

グラバー図譜

『日本西部及南部魚類』
Fishes of Southern & Western Japan

ベニヒシダイ
Antigonia rubescens

●画家：小田紫星
三崎以南の南日本、インド西太平洋海域に分布。厚みがあまりない体側が特徴。
50～750mの深海にすむ。

ズワイガニ
Chionoecetes opilio

●画家：萩原魚仙
大西洋、太平洋の寒海に広く分布。北陸地方ではエチゼンガニ、鳥取地方ではマツバガニと呼ばれる。

イイダコ
Octopus ocellatus

●画家：長谷川雪香
北海道南部以南の日本各地、東シナ海に分布。最大体長約30㎝。食用タコとして、マダコに次ぐ重要な種類。

ホシセミホウボウ
Daicocus peterseni

●画家：中村三郎
本州中部以南から南アフリカに分布。全長30㎝あまり。ほとんど食用にされることはない。

■学術的、美術的価値の高い図譜

イギリス製の大判のケント紙に描かれた『グラバー図譜』は、全32集（約800図）に及びます。大半（85％）は、魚類ですが、甲殻類、頭足類も含まれ、さらにはイルカや爬虫類のウミヘビも各1図収録されています。描いたのは、小田紫星、長谷川雪香、中村三郎、萩原魚仙、井上寿一という長崎在住の5人の画家でした。魚の鱗数や棘軟条数など一部に誤りがみられるものの、色彩は正確で、描写は精緻です。また、原図には種の学名や方言での呼び名が鉛筆で記されていますが、これは富三郎が単独で行ったとみられます。

『グラバー図譜』は、魚類の収録数や描写力などが高く評価され、シーボルトの『ファウナ・ヤポニカ』と共に、日本四大魚類図巻のひとつに数えられています。富三郎の死後、遺言によって図譜を託された渋沢敬三氏の判断で、1950年、長崎大学へ寄贈されました。現在、長崎大学附属図書館本館（長崎市文教町）の貴重図書室に保管されています。

長崎大学附属図書館のホームページでもご覧いただけます。

日本西部及南部魚類【グラバー図譜】
http://oldphoto.lb.nagasaki-u.ac.jp/GloverAtlas/index.php

長崎大学広報誌
[長報：チョーホー]
CHOHO
Vol.31

編集後記

男女共同参画という時代の流れの中で、長崎大学での男女共同参画推進事業の具体的な取り組みについて、センター長の大井久美子教授をはじめとするスタッフの方々にわかりやすく語っていただきました。将来、研究者を目指そうとしている女子学生や高校生の皆様に、夢と希望を持っていただける企画として特集いたしました。

久々の「人クローズアップ」は、社会人類学者の増田研准教授です。社会人類学とは何か、またその学問としての面白さが、ユニークな経歴とともに伝わってきます。写真はプロ級で、掲載のエチオピアでの写真は本人が撮影されたものです。

写真と見間違うほどの正確さと美しさを備えた貴重な史料が、長崎大学に保管されています。有名な『グラバー図譜』です。今回は、代表的な魚類をとり上げ、夏苅豊長崎大学名誉教授に解説していただきました。次号からは、古写真に替わる企画として『グラバー図譜』を連載していく予定です。ご期待ください。

（原田哲夫）

[編集・発行]
長崎大学広報企画委員会
（広報誌企画・編集専門部会）

[部会長]
原田　哲夫（工学部教授）

[委　員]
堀内　伊吹（教育学部教授）
吉田　高文（経済学部教授）
高橋　和雄（工学部教授）
池田　幸恵（環境科学部准教授）
小林　信之（医歯薬学総合研究科教授）
池田　正行（医歯薬学総合研究科教授）
堀尾　政博（熱帯医学研究所教授）
佐々木　均（病院教授）
光石　恭典（総務部総務課長）

TEL.095-819-2018
FAX.095-819-2156
〈E-mail〉
www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp

[発行日]2010年3月31日

PRINTED WITH SOY INK

information

〈平成22年度〉 長崎大学公開講座のご案内

長崎大学では、今年度も多彩な公開講座を開講いたします。
多くの市民の皆さまのご参加をお待ちしております。
尚、申込方法や申込期限などの詳細については、各連絡先へお問い合わせください。
本学のホームページ（http://www.nagasaki-u.ac.jp/）やポスターなどでもお知らせします。

講座名	開催予定日	受講対象者/募集人数	受講料等	連絡先 市外局番(095)
平和・多文化共生の構想を深める ～『ナガサキから平和学する！』をめぐる対話（Ⅰ）～	5/11～12/7 （全８回）	一般市民 20人	6,200円	教育学部総務係 TEL.819－2264
附属薬用植物園における薬用植物 ～漢方に用いられる生薬と民間薬～	5/8 （全１回）	一般市民 10人	無　料	薬学部　河野　功 TEL.819－2432
現代経営： 現代経営の課題2010	5/14～6/25 （全７回）	一般市民 30人	6,200円	経済学部総務係 TEL.820－6304
長崎脳卒中市民公開講座	5/29 （全１回）	長崎県民 300人	無　料	大学病院　脳神経外科 TEL.819－7375
家族愛の脳科学 ～母、父、祖父母、子どもの間に作られる愛情を脳科学する～	6/26、7/17 （全２回）	一般市民 80人	無　料	医学部　神経生理学 TEL.819－7036
環境問題を考える	6月中旬～7月上旬 （全４回）	一般市民 40人	無　料	生涯学習教育研究センター TEL.819－2234
地域づくりと公民館 ～地域づくりの拠点としての公民館と大学生涯学習との連携～	6月～12月 （全５回）	地域づくり関係者、行政職員、社会教育関係職員、生涯学習担当学校関係者など 20人	無　料	生涯学習教育研究センター TEL.819－2234
比田勝町（対馬市）生涯学習ひろばセミナー ～テレビ会議システムを活用した、地域づくりと大学生涯学習との連携～	6月～2月 （全５回）	地域づくり関係者、行政職員、社会教育関係職員、生涯学習担当学校関係者など 20人	無　料	生涯学習教育研究センター TEL.819－2234
エコツーリズム入門 ～観光と地域づくりを学ぼう～	6/3～7/22 （全８回）	観光や地域づくりに興味のある方 10人	テキスト代のみ5,000円程度	環境科学部 深見聡 TEL.819－2720
子育てママの勉強会	7/3～10/23 （全４回）	子育て中のお母さん 30人	無　料	心の教育総合支援センター TEL.819－2256
地上波テレビデジタル放送のしくみ	7/24～8/7 （全３回）	一般市民 20人	アンテナ材料代1,000円	工学部電気電子工学科 田口光雄 TEL.819－2561
遺伝学講座Ⅷ ～遺伝について楽しく学ぼう～	8/18 （全１回）	小学校高学年（親子、兄弟姉妹での参加も歓迎します） 30人	無　料	医学部　保健学科 山崎/佐々木 TEL.819－7926
生き生き健康ライフ講座Ⅹ	9/4、9/11 （全２回）	一般市民、医師、看護師、栄養士、保健師ほか医療関係者、及び学生 150人	無　料	大学病院　生活習慣病予防診療部 川﨑英二 TEL.819－7550
安全安心工学入門 ～サステナブルな社会を目指して～	9/3～10/1 （全４回）	技術者、防災関係者、一般市民 30人	テキスト代のみ2,100円	工学部総務係 TEL.819－2489
社会科学のフロンティア	10/3、10/10 （全２回）	一般市民、学生（高校生を含む） 70人	無　料	経済学部総務係 TEL.820－6304
哲学講座：「愛」を考える	10月中旬～11月上旬 （全４回）	一般市民 40人	無　料	生涯学習教育研究センター TEL.819－2234
身体が変わる教育が変わる ～体験的身体関係論入門～	11/5～12/17 （全７回）	一般市民 12人	無　料	大学教育機能開発センター 山地弘起 TEL.819－2087
女性の健康週間 ～産婦人科へ行こう～	3/3 （全１回）	長崎県民 400人	無　料	大学病院 産婦人科 FAX.819－7365
水産講座	未　定 （全１回）	水産業関係者 30～40人	無　料	水産学部総務係 TEL.819－2793

表　紙
について

「あざみ」

晩春から夏にかけて咲くあざみの花言葉は「独立」、「厳格」など。和紙をちぎったり、重ねたりして表現すると、茎や葉の刺々しさも優しい表情に。大学病院12階外来の待合スペースに展示しています。

http://www.nagasaki-u.ac.jp/

CHOHO

長崎大学広報誌［長報：チョーホー］

■第31号アンケート

長崎大学 NAGASAKI UNIVERSITY

読者の皆様のご意見・ご要望をもとに、より充実したCHOHOを目指します。
大変お手数ですが以下のアンケートにお答え下さい。
ご回答はFAX（095-819-2156）でお願いします。
なお、E-mail（www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp）でも受け付けております。

［年齢］　　歳　　［性別］　男 ・ 女

1 今回よかったコーナーに ✓ をつけて下さい。（複数回答可）

- □【特集】～男女共同参画推進の拠点～おもやいセンター、始動！
- □【人クローズアップ】環境科学部　増田研准教授
- □【いいたか放題】長崎県福祉保健部医療政策課（行政医師）　藤田利枝さん
- □【長崎大学教育学部附属小学校　金管バンド部】
- □【夢へのチャレンジ】「夢募集」企画大賞 ウッドデッキ築造プロジェクト（前編）
- □【長大ニュース】
- □【グラバー図譜】
- □【インフォメーション】・【編集後記】

2 今回の内容はどうでしたか？ ✓ をつけて下さい。

□やさしい　□ふつう　□少しむずかしい　□むずかしい　□わからない　／　□おもしろい　□ふつう　□つまらない

◎ご意見・ご感想をお書き下さい。……

3 今後読んでみたいテーマなどありましたらご記入下さい。

ご自由にお書き下さい。

4 CHOHO をどこでご覧になりましたか？

5 その他、大学に対するご意見・ご要望がありましたらお聞かせ下さい。

ご自由にお書き下さい。

ご協力ありがとうございました。

長崎大学広報企画委員会（広報誌企画・編集専門部会）
〒852-8521 長崎市文教町１番14号　TEL095-819-2018
〈E-mail〉www_admin@ml.nagasaki-u.ac.jp